

三和支所管内より

コストを抑えながら品質の良いものを

楠瀬 博之さん(35)

南国市里改田でご家族と一緒に養液栽培でピーマンを育てている博之さんは、県外で7、8年勤められ、家業である農業を継ぐことを決意し4年前に帰高しました。帰省後は、県立農業担い手育成研修センター等で研修を行い、2年前に就農。現在、25アールのハウスで2作目を栽培しています。

農業の魅力を「しぼりがなく、自分次第でなんとでもなる」と話す博之さん。栽培技術の向上にも前向きで、現地検討会など農家同士で意見や情報交換を行う場にも積極的に参加し、自身の栽培に取り入れるなど熱心に取組まれています。気候や樹の成長に合わせて水分量を調節するなど、コストを抑えながら良いものを生産できるように努めています。

大川支所管内より

山での暮らしを満喫しています！

櫻井 直彦さん(50)

陽子さん(50)

波奈さん(12)

昨年4月に京都府から3匹の猫と一緒に大川村に引っ越してきた櫻井さんご一家。旅館で勤務していたご主人の直彦さんが、コロナ禍の影響を受け悩んでいたところ、友人からの誘いもあり『地域おこし協力隊』として移住を決意。移住後は、地元のピーマン農家さんの元で手伝いをしながら、地域の活性化に向けて精力的に活動しています。

奥様の陽子さんは、給食センターに勤めながら、ヨガ教室の講師としても活躍中です。日本（離島除く）で2番目に人口の少ない大川村。娘の波奈さんは、人が少ないことに驚いたそうですが、「毎日楽しく学校に通っている」とニコリ♪ 自然豊かな大川村でのんびり、山の暮らしを満喫されています。

日章支所管内より

ケンカもしない、仲よし兄弟です♪

岡本 翔空くん(8)

瑞希くん(3)

父：翔さん 母：未来さん

小学3年生の翔空くんと年少組の瑞希くん。兄の翔空くんは、大篠のチームに所属し、日々練習に励んでいる野球少年！「試合に出たら、ヒット1本は打ちたい！」と意気込みます。ピッチャー志望で、食へのこだわりも人一倍の翔空くん。好きな食べ物は、たらこクリーム Pasta と柔らかくてカリカリのから揚げ。看護師に憧れている弟思いの優しいお兄ちゃんです。

弟の瑞希くんは、車やバイクなどの乗り物が大好き！ちょっぴりやんちゃな元気いっぱいの男の子です。バナナやパイナップル、イチゴなどフルーツが大好きな瑞希くん。好きな色を聞くと、「ぜんぶの色がすき」と照れながら教えてくれました。兄弟仲良く、すくすく成長してね！

長土地区 から こんにはは 今月の 気になる人

飼い主と犬。 双方が幸せに暮らせるために

飼い主：竹村 香代さん

ペット：(上) むぎくん(4)

(下) クー太くん(6カ月)

クルクルでもふもふの毛がキュートな、トイプードルのむぎくんとクー太くん。4年程前に迎え入れたむぎくんは、とにかく人が好きで元気いっぱい！そんなむぎくんの遊び相手になればと今年迎え入れたクー太くんは、一人遊びなどのんびり過ごすこともあります。それぞれ性格は違いますが、じゃれ合ったり、庭先を走ったりとても仲良しな2匹。「また一から子育てをしている感覚」と、日々ご夫婦に癒しを与えています。

初めは、トイレトレーニングなどのしつけに苦戦しましたが、「飼い主と犬が幸せに暮らせるように、最低限のしつけは大切」と香代さん。病気をせず長生きしてほしいと願い、2匹にたくさんの愛情を注いでいます。

大篠支所管内より



大川支所管内より

ベトナムから大川村へ

(上) ゲン・ティ・ハンさん(20)

(下) ティン・ティ・トゥイ・ヴァンさん(22)

大川村の花弁農家山中農園で労働実習生として働いているハンさんとヴァンさん。お2人とも花が好きだったことから山中農園を選び、令和3年2月19日にベトナムから来日されました。

初めて大川村に来た時は、山ばかりでびっくりしたそうですが、「住んでいるうちに少しずつ慣れてきた」と笑顔のお二人。まだまだ大変なこともありますが、日々たくさんのことを吸収しながら仕事に励んでいます。

ハンさんの今後の目標は、「今の仕事を一生懸命にやる」こと。ヴァンさんは、「日本語の通訳をしたい」とそれぞれの夢や目標を力強く語ってくれました。それぞれ新たなステップに向けて全力で取り組んでいます。



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



温かい食事を提供し、学生との交流を深める女性部員

1 れいほく地区

牛のうどん屋さんで合宿生に食事提供



J A高知県女性部れいほく地区の部員12人で活動している『牛のうどん屋さん』は、3月12日から土佐町で強化合宿をしている武庫川女子大学カヌー部の学生やコーチ18人に食事を提供しました。食事の提供は、12日から18日までの一週間。栄養バランスのとれた食事を朝昼晩用意し、学生との交流を深めました。献立は栄養士の献立を参考に、地域の特産である米粉を使った『米粉たまごドック』や土佐あかうしのハンバーグなどアレンジを加え、地元の農畜産物を使用

した食事を提供。学生からは、「栄養満点で美味しい」「苦手な食材も、味付けが美味しく食べることができた」と好評でした。同部の薦田遥コーチは、「下宿や寮生活の学生ばかりなので、愛情のこもった温かいご飯を作ってくれてありがたい」と感謝しました。同女性部の真辺由香さんは「学生さんにも好評で良かった。地域が誇る農畜産物の美味しさを知ってもらい、地域の活性化に女性部も協力していきたい」と話しました。



Web配信で開催された食品表示・衛生セミナー

2 南国市地域

食品表示・衛生セミナーを開催

J A高知県は3月10日、食品表示や衛生の法的知識を修得することを目的に『食品表示・衛生セミナー』を開きました。新たな試みとして、直販所の出荷会員や加工食品を製造・販売している女性部員を対象に加えて開催されました。管内では、『風の市』、『かざぐるま市』、『ことおち市』の出荷会員を対象に積極的な参加を呼びかけました。地区本部と南国営農経済センターの2会場でWebによる配信が行われ、3直販所の会員74人のほか、J A

職員が参加しました。セミナーでは、(株)マトハヤ・フーズコンタクトの代表取締役・早剛由氏が、食品表示の基礎知識や生鮮・加工食品の表示方法などについて説明。また、食品表示基準の改正・施工に伴い、4月1日から全ての加工食品に対して原料原産地表示を行うことが義務づけられることとなりました。参加者は、「新しい原料原産地表示制度」の運用に向けて、安全・安心な食品を消費者に届けるため、熱心に耳を傾けました。

3 れいほく地区 米袋を再利用したエコバック作り



完成した米袋バックと一緒に

J A高知県女性部れいほく地区本山支部は3月28日、本山支所で使わなくなった米袋を再利用したエコバック作りを行いました。同支部の真辺由香支部長が講師となり、部員ら6人がエコバック作りに挑戦しました。部員らは、手順を確認しながら丁寧に作業を行い、1時間程かけて完成させました。米袋は、クラフト紙を三重にして作られているため、「丈夫で長持ちする」と部員からも好評。真辺支部長は、「資源を大事に再利用することはSDGsにもつながる」と話し、今後も希望者に応じて開催し、普及活動にも取り組んでいきます。

4 南国市地域 南国市地区女性部通常総会開催



書面議決にて開催された通常総会

J A高知県女性部南国市地区は3月15日、令和3年度通常総会を開きました。今年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、集まる開催は行わず書面議決による議決により総会が執り行われました。同日、役員14人が集計作業を行い、議案は全て原案通り可決・承認されました。同女性部の坂本幸子部長は、「大人数が集まるイベントの開催は難しいが、コロナ禍でも工夫しながらできる活動を続けていきたい。全体の活動と併せて、支部活動の充実を図れるよう支援をしていきたい」と次年度への意欲を語りました。

5 れいほく地区 嶺北家畜市場3月定例市



103頭が出頭した定例市

嶺北畜産協会は3月25日、土佐町の嶺北家畜市場で2021年度最後の定例市を開きました。子牛81頭、成年22頭が取引されました。子牛の平均取引価格は、褐毛和種が41万円、黒毛和種が52万円、子牛全体では、43万円でした。最高値は土佐町管内で飼育された黒毛和種の去勢子牛（日齢221日、体重261kg）が、67万円でせり落とされました。今年1月に開催された初せりから比べると価格は下降気味。同協会の西村行雄理事長は、「出頭数は多かったが、景気回復や消費環境の不透明感が取引価格に影響しているのではないかと話しました。

6 南国市地区 環境に優しい水稲栽培を目指して



浅水代かき実践会の様子

J A高知県南国市稲作部は3月24日、水田からの濁水流出対策の取り組みとして毎年開催している「浅水代かき実践会」を開きました。野田地区の都築康夫さんの圃場で開かれた実践会には、水稲農家や行政担当者、J A職員ら21人が参加しました。入水量を減らした代かきの実施により、河川や海への濁水も流出を防ぐ技術として用いられている浅水代かき。同部では、濁水流出対策として毎年開催しており、今年で12回目となりました。今後も、「浅水代かき」や「止水版使用の普及」を進め、環境に優しい農業の推進を行います。

えいのう〜

役立つ! 得する! 情報

れいほく地域より

れいほく営農経済センター 営農販売課 0887-82-2803

水稲の栽培管理について

病害虫の発生は天候に大きく左右されます。気象の変化に十分に注意してください。防除は、品質低下の原因になるいもち病、カメムシ類を中心に注意して行いましょう。

水管理

- ◎気象状況を確認しながら水管理を行いましょう。
- ・田植え直後は、3〜4cm位の深水で苗を保護し、活着後は、2〜3cmの浅水で分けつ発生を促す。
- ・1株あたりの茎数が25本程確保できたら、田面に亀裂が入る程度に落水を行う。(中干し)
- ・中干し後は、灌水と落水を交互に繰り返し根をしっかりと張らす。
- ・収穫時期になると収穫作業に支障をきたさない範囲で落水を行う。

穂肥の施用

- ◎穂肥は食味や充実した籾を確保するために重要な役割を果たします。
- ・穂肥の時期は出穂20日前になると、幼穂が3mm程度になり、この時期に生育状況のみて施用する。

本田殺虫・殺菌剤

| 症状 | 形状 | 品名 | 使用量(10a) | 使用時期 | 使用回数 |
|--------------------------------|----|-----------------|------------------|------------------------------------|------|
| いもち病 稲こじ病 | 粉 | ブラシン粉剤DL | 3〜4kg | 収穫7日前まで | 2回以内 |
| | 乳 | ブラシンフロアブル | 1,000倍 | 収穫7日前まで | 2回以内 |
| いもち病 | 粒 | コラトップ粒剤5 | 3〜4kg | 葉いもち初発10日前〜初発時 穂いもち出穂30日前〜5日前まで | 2回以内 |
| ウンカ類 カメムシ類 | 乳 | トレボン乳剤 | 1,000〜 2,000倍 | 収穫14日前まで | 3回以内 |
| いもち病・紋枯病 稲こじ病 ウンカ類・カメムシ類 | 粒 | ゴウケツ モンスター粒剤 | 3kg | 出穂5日前まで 但し、収穫45日前まで | 1回以内 |

※農薬使用時は必ず農薬のボトルや袋のラベルを確認し、登録内容や有効期限の内容に従って使用してください。



稲こじ病

クモヘリカメムシ

南国市地域より

南国営農経済センター 営農指導課

088186312415

施設栽培終了後の 土壌管理

休閑期の土壌管理の良し悪しが翌年の病害虫の発生や、作柄を左右する事になりますので、適正な後処理は、次作への第一歩に繋がります。

◆施設の蒸しこみ

作物への灌水を2〜3日止め、根を引き易い状態にしてから、作物を土から引き抜きます。または、地際部から切断します。そのまま7日位ハウスを密閉した状態で蒸しこみます。作物を枯らす事で高温乾燥状態にし、アザミウマ類・コナジラミ類・カイガラムシなどハウスに残った多くの害虫を死滅させることができます。特に虫媒ウイルスが問題となる品目は、保毒した媒介虫がハウス外へ飛散しにくいこの方法で完全に死滅させます。また作物残さは乾燥して軽くなり、圃場外への搬出も容易になります。

◆残さ処理

近年は周辺環境への配慮や労力上の問題から圃場内に残さをすきこむことが多くなっています。残さを圃場内にすきこむ場合は、残さ腐熟促進資材を利用するとより効果的です。(使用目安は表を参照)



表：残さ腐熟促進資材

| 商品名 | 規格 | 10a使用料 |
|-----------|------|---------|
| 酵素・で・くさ〜る | 15kg | 45〜60kg |

(石灰窒素との併用は避ける)

ただし、土壌伝染性病害や塩類集積などの問題がある場合は、かえってそれらの問題を深刻化してしまう場合がありますので作物残さは圃場外に運び出して処分する必要があります。

◆石炭熱石灰窒素を利用した土壌消毒

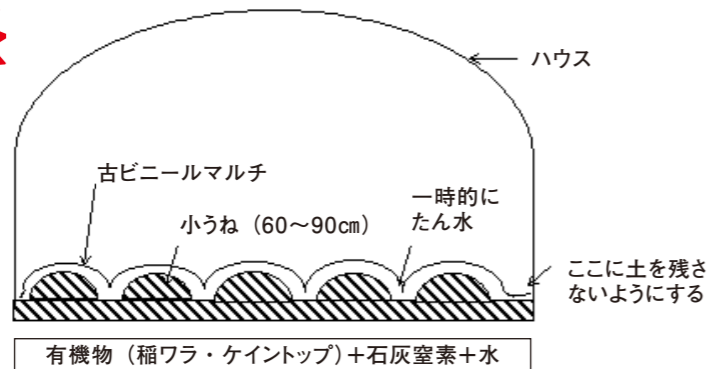
土壌表面をビニールマルチで覆うと地温が上昇し、土壌消毒ができます。この場合、石灰窒素を併用すると、効果が高くなります。



南国営農経済センター 営農指導課 小松 寛明

〈作業手順〉

- ①地温が上昇する夏期に石灰窒素80〜100kg/10aを施用し、たっぷり灌水します。
- ②熱の伝導をよくするために耕土全体を丁寧に耕耘し60〜90cm幅の小うねをたてて光線を良くあたえるようにします。土壌は、湛水状態になるほど十分に灌水し、マルチングを行う(古ビニール可)。水分が多いほど熱伝導がよく効果が高くなります。
- ③施設全体を密閉し、温度の上昇を図ります。
- ④施設内では温度が70℃以上になり、深さ10cmで50℃、20cmで40℃に達します。この状態で20〜30日放置すると土壌病原菌やセンチュウ類が死滅します。



GAP 掲示板 vol.26

番外編 れいほく地域

「農具の清掃・出荷調整場所について」

収穫や剪定に使用する農具や収穫物を入れるコンテナは定期的に清掃していますか？

- ・表面についた土などはその日のうちに洗浄するようにしましょう。
- ・喫煙や飲食は既定の場所を決めて調整場所では行わないようにしましょう。
- ・作業前には手洗いうがいをし、アクセサリ等の装飾品は外しましょう。



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

シイタケの作り方、地域の伝統を子どもたちに伝えていくことがとても嬉しかった。店先にあるだけでなく、栽培の過程を知ること、作物をより一層、美味しくいただけると思いました。
(本山支所・68歳)

▼体験を通して、地域で栽培されている作物や農家さんの思いに触れ、農業に興味を持ってもらえたら嬉しいです。自分たちが育てた農作物の美味しさを感じながら味わってほしいと思います。
輝け！新農人のコーナーを毎月楽しみにしています。どうしても参考になることが多く、いつも感心して読んでいます。
(岡豊支所・80歳)

▼夢を抱き、試行錯誤しながら前向きに頑張っている皆さんの姿は眩しいですね。思いや目標、きっかけなど一人一人にストーリーがあり、引き込まれます。
楽しく拝見させていただいております。各地区の活動内容が手に取るよう分かります。益々のご活躍を期待しております。
(長岡支所・71歳)

▼地域によって活動も様々ですが、各地区の活動の様子や魅力が伝わるように、これからも広報誌を通して発信していきます！
花のある暮らしの最初の太文字の文章にハッ！としました。地産地消って食べ物だけじゃないですね。
(三和支所・64歳)

▼本当にそうですね。県内の生産者の方々が丹精込めて栽培した花々を飾って楽しみ、「地産地消」を進めていきましょう！

まだまだコロナが減少せず、外出できない状態です。美味しいものを食べたいです！
(十市支所・63歳)

▼制限も少しずつ緩和されていますが、もう少し我慢の時間が続きそうですね…。安心して外出できる日が2日でも早く訪れることを願っています。
切り花を飾るのも好きですが、鉢植えも大好きです。今日は、紫のフレンチラベンダーとペチュニア、ペゴニアを買ってきました。



花の日記 (大杉支所・68歳)

▼素敵なイラストとお便りありがとうございました。花は見ていただけで心が癒されますよ。切り花や鉢植えなど、四季折々の花を飾って眺めて楽しんでください。

川柳・和歌紹介

パズルとき 今日も一人で エビス顔
こうぐりを めくって最後 パズルとく
(久礼田支所・82歳)

下手なりの めりえハガキに 収まりて
気持ち癒され 今日の日を
(れいほく支所・80歳)

南国

令和4年度 米麦水分計点検

米麦水分計（ケット製ライスター）の点検を行います。希望される方は、水分計1台ごとに①支所名、②住所、③氏名を書いた名札をつけて、購買課又は最寄りの支所、営農経済渉外担当職員までお持ちください。県外メーカーのため、期日後のお申し込みはお受けできません。

申込期日 令和4年5月25日（水）

対象 ケット製水分計

点検料 未定
(決定次第ご連絡します。
なお、修理・部品交換は別途必要)

お問い合わせ先 南国営農経済センター購買課
(TEL：088-863-2413)

南国

組合員課より 直販所「かざぐるま市」 新規加入者募集

南国市直販所「かざぐるま市」は、10月中旬頃から農産物と加工品（惣菜や菓子など）を出荷できる方を募集します。各支所に申込書を置いてありますので、希望者はお近くの支所までお申し込みください。

なお、お申し込みがあった方には後日加入説明会と生産履歴記帳講習会の日程をお知らせします。



※説明会、講習会に参加できない方は加入できません。

資格 JA高知県女性部南国市地区女性部員

募集品 野菜、花卉、加工品、手芸品

募集期間 7月～8月末まで

お問い合わせ先 南国営農経済センター組合員課
担当：楠瀬・千葉
(TEL：088-863-2416)